

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	四国財務局長
【提出日】	平成27年2月10日
【四半期会計期間】	第101期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	阿波製紙株式会社
【英訳名】	AWA PAPER MFG. CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三木 康弘
【本店の所在の場所】	徳島県徳島市南矢三町三丁目10番18号
【電話番号】	088(631)8101
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員経営管理部長 吉井 康夫
【最寄りの連絡場所】	徳島県徳島市南矢三町三丁目10番18号
【電話番号】	088(631)8101
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 岡澤 智
【縦覧に供する場所】	阿波製紙株式会社 東京支店 （東京都中央区八丁堀三丁目4番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第100期 第3四半期 連結累計期間	第101期 第3四半期 連結累計期間	第100期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	11,584,607	12,058,106	15,701,731
経常利益 (千円)	415,056	379,744	581,153
四半期(当期)純利益 (千円)	288,180	200,557	412,356
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	423,024	361,258	595,943
純資産額 (千円)	5,971,497	6,468,858	6,134,211
総資産額 (千円)	16,719,287	17,590,007	17,391,171
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	28.33	19.72	40.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	28.4	28.9	27.7

回次	第100期 第3四半期 連結会計期間	第101期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.03	15.55

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策などにより雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、原油価格下落の影響や企業の生産、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費の回復の鈍さや海外景気の下振れリスクも依然として存在し、景気の先行きに不透明感の残る状況が続いております。

当社グループの関連市場である自動車部品業界は、国内では消費増税前の受注残を抱えていましたが、駆け込み需要の反動の長期化などにより需要は総じて低調に推移いたしました。一方海外では、中国や北米、欧州において需要が堅調でしたが、東南アジア市場では需要が伸び悩みました。世界の水ビジネス市場においては、引続き競争が激しさを増しているものの、新たな環境需要や更新需要の対応などにより市場は拡大傾向で推移いたしました。

当社グループは、このような状況において、主にアジア地域を中心に海外市場への拡販活動を推進するとともに新商品の市場展開・事業化に取り組んでまいりました。さらに、生産性の向上や業務の効率化などの取り組みにより原価低減を図り、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,058百万円(前年同四半期比473百万円増、4.1%増)となりました。利益面では、営業利益331百万円(前年同四半期比140百万円増、74.1%増)、経常利益379百万円(前年同四半期比35百万円減、8.5%減)、四半期純利益200百万円(前年同四半期比87百万円減、30.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間の主要な品目別売上高の状況につきましては、次のとおりであります。

なお、当社グループは、機能材料の製造・販売を事業内容としており、単一の事業活動を行っておりますので、品目別に記載しております。

(自動車関連資材)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、7,497百万円(前年同四半期比405百万円減、5.1%減)となりました。

(水処理関連資材)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,219百万円(前年同四半期比793百万円増、32.7%増)となりました。

(一般産業用資材)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,341百万円(前年同四半期比86百万円増、6.9%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、330百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設のうち、当第3四半期連結累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	設備の内容	完成年月
Thai United Awa Paper Co.,Ltd. カビンプリ工場	タイ国 プラチンプリ県	抄紙設備 紙加工設備	平成26年4月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,800,000
計	28,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,172,676	10,172,676	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	10,172,676	10,172,676	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	10,172,676	-	1,385,137	-	1,375,899

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,168,700	101,687	-
単元未満株式	普通株式 2,176	-	-
発行済株式総数	10,172,676	-	-
総株主の議決権	-	101,687	-

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
阿波製紙株式会社	徳島県徳島市南矢三町三丁目10番18号	1,800	-	1,800	0.02
計	-	1,800	-	1,800	0.02

(注)平成26年12月31日現在の所有株式数は、1,810株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,562,028	1,039,208
受取手形及び売掛金	2,826,933	2,820,050
商品及び製品	906,170	1,035,043
仕掛品	681,004	727,491
原材料及び貯蔵品	652,243	915,026
繰延税金資産	112,465	76,039
その他	95,742	146,529
貸倒引当金	72	76
流動資産合計	6,836,516	6,759,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,601,024	3,070,277
機械装置及び運搬具（純額）	1,196,773	2,428,186
土地	3,843,832	3,854,303
リース資産（純額）	203,873	170,759
建設仮勘定	1,728,180	306,905
その他（純額）	291,752	347,970
有形固定資産合計	9,865,436	10,178,402
無形固定資産	35,257	20,132
投資その他の資産		
投資有価証券	264,801	306,311
繰延税金資産	258,567	206,269
その他	131,592	120,580
貸倒引当金	1,000	1,000
投資その他の資産合計	653,961	632,160
固定資産合計	10,554,655	10,830,695
資産合計	17,391,171	17,590,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,988,726	2,324,332
短期借入金	1,186,984	1,711,084
1年内返済予定の長期借入金	954,993	1,131,220
未払法人税等	17,061	70,036
賞与引当金	207,359	119,529
設備関係支払手形	69,576	2,36,178
その他	774,223	539,382
流動負債合計	6,198,925	6,831,764
固定負債		
長期借入金	3,372,475	2,745,393
リース債務	163,669	130,027
再評価に係る繰延税金負債	776,455	776,455
環境対策引当金	14,312	14,312
退職給付に係る負債	709,594	601,669
資産除去債務	21,526	21,526
固定負債合計	5,058,034	4,289,384
負債合計	11,256,959	11,121,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,385,137	1,385,137
資本剰余金	1,375,899	1,375,899
利益剰余金	613,569	843,065
自己株式	521	521
株主資本合計	3,374,084	3,603,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,423	46,036
土地再評価差額金	1,401,176	1,401,176
為替換算調整勘定	34,953	42,176
退職給付に係る調整累計額	10,204	5,102
その他の包括利益累計額合計	1,448,347	1,484,286
少数株主持分	1,311,779	1,380,990
純資産合計	6,134,211	6,468,858
負債純資産合計	17,391,171	17,590,007

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	11,584,607	12,058,106
売上原価	9,845,171	10,103,417
売上総利益	1,739,436	1,954,689
販売費及び一般管理費	1,549,210	1,623,547
営業利益	190,226	331,141
営業外収益		
受取利息	9,725	6,355
受取配当金	5,605	6,627
為替差益	210,798	76,252
技術指導料	86	833
その他	49,498	18,999
営業外収益合計	275,714	109,069
営業外費用		
支払利息	32,531	42,746
手形売却損	1,361	2,382
その他	16,991	15,336
営業外費用合計	50,884	60,465
経常利益	415,056	379,744
特別利益		
固定資産売却益	810	2,026
投資有価証券売却益	-	234
受取補填金	41,354	-
特別利益合計	42,165	2,260
特別損失		
固定資産除却損	3,256	1,430
特別損失合計	3,256	1,430
税金等調整前四半期純利益	453,964	380,574
法人税、住民税及び事業税	28,955	99,481
法人税等調整額	35,132	29,314
法人税等合計	64,088	128,796
少数株主損益調整前四半期純利益	389,876	251,778
少数株主利益	101,696	51,221
四半期純利益	288,180	200,557

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	389,876	251,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,494	23,613
為替換算調整勘定	29,653	80,764
退職給付に係る調整額	-	5,102
その他の包括利益合計	33,148	109,480
四半期包括利益	423,024	361,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,569	236,496
少数株主に係る四半期包括利益	204,455	124,762

【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の見込支払日までの平均期間に近似した年数を反映した単一の割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が123百万円減少し、利益剰余金が79百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形割引高	127,639千円	219,473千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の内額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形割引高	- 千円	42,599千円
支払手形	-	435,154
設備関係支払手形	-	14,811

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	468,152千円	512,692千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	71,196	7	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	50,854	5	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、機能材料の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円33銭	19円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	288,180	200,557
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	288,180	200,557
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,170	10,170

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月9日

阿波製紙株式会社
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 幸彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田中 賢治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている阿波製紙株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、阿波製紙株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。